

女性活躍推進事業【薩摩川内市】

総事業費	735 千円
交付金額	367 千円

地域の実情と課題

令和元年度に本市が実施した事業所アンケートによると女性64.0%、男性6.6%が非正規雇用であり、管理職における女性の比率は7.8%となっている。また、女性の管理職への登用について、「特に増やしていく考えはない」と半数近くが回答しており、女性の活躍推進のためには事業所への積極的な働きかけが必要である。このような状況から、それぞれのライフステージに応じ、男女ともに活躍できる環境づくりを進めるため、関係団体と連携した取り組みを進める。

目的・目標

本市における女性の職業生活における活躍推進を官民一体となって推進するため、市内関係団体による協議会を設置し、女性が活躍できる環境づくりを進める。

【数値目標】

女性活躍推進認定企業数
R4実績 18社 → R5実績 22社(目標値25社)

事業の特徴

女性自身が両立やキャリアアップに対する不安解消につながるスキルの習得を図り、管理職登用の意欲向上を目指すセミナーと、企業の経営者層が、意識改革とともにジェンダー平等による働きやすい、働きがいのある職場づくりを具体的に進めることに資するセミナーを実施した。

また、本市女性活躍推進認定企業の増加を目指し、企業等へアドバイザーを派遣し独自の取り組みの推進のため、社員研修等を実施した。

連携団体

薩摩川内市女性活躍推進協議会

(構成団体)

- ・行政機関
- ・民間企業関係団体
- ・農林水産関係団体
- ・金融機関
- ・教育機関
- ・コミュニティ団体 等

事業の効果

各セミナーの参加者約9割以上から高い満足度の結果を得た。女性自身がスキルを習得することにより、様々な不安解消を図り、自らが女性活躍推進を目指し行動する意欲向上の効果が、参加者の感想から読み取れた。また、経営者らが働く場でのジェンダー平等推進の必要性や具体的方策をセミナーにより、知り体感することで、求められている会社経営の在り方考え意識改革を図ることができた。本市女性活躍推進認定企業の認定企業数は、前年度より4社増え22社(R5)であり、少しずつではあるが増加している。

今後の課題

中小企業の多い本市においては、企業への積極的な働きかけが必要である。女性が活躍する上での阻害要因として、男性に比べ、女性は家庭の負担が重いといった割合が62.9%と高い。このことから、性別による役割分担の固定化解消が課題となっている。今後も、仕事と家庭の両立に関してのノウハウや男性の家事・育児への参画等の具体事例を提示していくことが必要である。

